

令和5年度第3回 倉敷市地域公共交通会議 議事概要

開催概要

開催日時	令和6年1月24日（水） 13時30分～15時30分
開催場所	倉敷市役所10階 大会議室
出席者	委員（代理出席含む）23名 橋本成仁委員、氏原岳人委員、西崎大修委員、山本明子委員、野田俊明委員、家守豊委員、 （代）沼本健一委員、岡田和史委員、神宝博委員、高木秀治委員、（代）田井中祐己委員、 楠本雅之委員、（代）新谷大委員、池内丈史委員、（代）山口幸右典委員、小松賢治委員、 槇尾俊之委員、平井啓之委員、吉田奈美委員、原弘好委員、（代）野田真人委員、 赤松健司委員、（代）堀越信宏委員
	その他
	事務局6名、関係者2名、傍聴者1名
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員紹介 3 会長挨拶 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ア 豊洲地区コミュニティタクシー（トヨタク）の試験運行について イ 倉敷市地域公共交通計画の改定について ウ 令和6年度地域公共交通会議予算（案）について (2) 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> ア 路線バス・臨鉄無料デーの実施結果について イ プレミアム付きタクシー券の販売状況について ウ 交通政策関連予算について (3) その他 5 閉会
配布資料	次第、委員名簿、配席図 資料1 豊洲地区コミュニティタクシー（トヨタク）の試験運行について 資料2 倉敷市地域公共交通計画改定案（63-1, 63-2 ページ） 資料3 令和6年度倉敷市地域公共交通会議予算（案） 資料4 路線バス・臨鉄無料デーの実施結果について 資料5 プレミアム付きタクシー券の販売状況について 資料6 交通政策関連予算について（令和5年度12月補正予算） その他 井原線感謝デーチラシ

協議事項	<p data-bbox="316 159 1193 192">ア 豊洲地区コミュニティタクシー（トヨタク）の試験運行について</p> <p data-bbox="331 210 679 244">【事務局から説明】（資料1）</p> <p data-bbox="331 259 557 293">【質疑応答・意見】</p> <p data-bbox="331 309 413 342">（委員）</p> <p data-bbox="316 353 807 387">セダンタクシーは1台で運行するのか。</p> <p data-bbox="331 403 442 436">（事務局）</p> <p data-bbox="316 452 1315 486">基本的には1台だが、定員を上回る予約があった場合には追加車両が運行する。</p> <p data-bbox="331 501 413 535">（委員）</p> <p data-bbox="316 551 1426 629">「1. 2人に満たなかった場合は、本格運行の延期、中止を検討」とあるが、この1. 2人の根拠は何か。</p> <p data-bbox="331 645 442 678">（事務局）</p> <p data-bbox="316 694 1426 869">制度が始まった当時の利用実績に基づいて設定した目標値だ。これは5便走ったらそのうちの1便に2人乗れば1. 2人を達成するような形になる。なるべく地域の皆さんで乗り合っていて、通常の形よりも安く便利に使っていただくということでできた交通なので、なるべく乗り合っていただくため目標として設定させていただいている。</p> <p data-bbox="316 884 1426 1059">なお、補助を開始して本格運行に移行するだけでなく、その補助が継続していくための要件というの、1. 2人になっている。1人が1台に乗っていると、乗り合いという意味での効率性は担保されていないという格好になるので、後々補助を継続していく条件を満たしているかをこの3ヶ月間で見させていただくという根拠規定がある。</p> <p data-bbox="331 1075 413 1108">（議長）</p> <p data-bbox="316 1124 1426 1440">今回の試験運行の際は、地域負担は発生しない形になっているが、本格運行時には地域負担が発生する。実際に赤字になった額に対して、地域がその中の1割を負担するというのが今のルールだったと思うが、要するに便利にしようとする1日10便でも20便でも走ればいいということになるが、後々地元への負担が大きな額となって返ってくることになるため、運営主体にあまり大きな負担をかけないということも考えながら、かつ無責任にたくさんサービスを提供しないというバランスを考えると、何らかの制約が必要だろうということでこの数字が設定されたと記憶している。</p> <p data-bbox="331 1456 413 1489">（委員）</p> <p data-bbox="316 1505 1426 1583">ある程度乗り合うことが地域にとっても行政にとっても望ましいということだと思うが、他地区等で乗り合うための工夫をしている事例があれば教えてほしい。</p> <p data-bbox="331 1599 442 1632">（事務局）</p> <p data-bbox="316 1648 1426 1727">既存地区はほぼ1. 2人以上をクリアしているが、運営委員会の中で会議を開いていただき、町内の方にチラシを配布したり周知活動を行ったりしていただいている。</p> <p data-bbox="331 1742 413 1776">（委員）</p> <p data-bbox="316 1792 1426 1919">ある程度、地域でいろいろな取り組みが進められていると思うので、例えば地域間の横の繋がりによる情報の共有等、より良いものになっていくような仕組みがあってもいいのではないかと感じた。</p>
------	---

協議事項

(議長)

おそらく便数の設定が最大のポイントになってくるだろうと思う。そのために、スタート時や途中でアンケート調査等を行い、ニーズの把握をして、それを踏まえて時間帯や1日の便数を出していると思うので、そのあたりの工夫を少しまとめておいてもらいたいと思う。

(議長)

今回は運営主体がいくつかの自治会や町内会になっているが、本格運行に移った場合、仮に地域負担が発生したときに、どういう負担割合になるかは議論されて決まっているのか。町内会の頭割りなのか、町内会の人数割りなのか、どういう形になっているのか教えてもらいたい。

(事務局)

市としては1割が地域負担として事業者にお払い、倉敷市から9割支払うというところまでしか制限はないため、今回地域地区が4つあるが、どういった分担になっているかは運営委員会の会長にお聞きした方が良くと思う。

(運営委員会会長)

我々の方で検討したのは、4地区で負担を均等割しようと。人数の多い少ないはあるが、平均化して4等分で払おうということで決まっている。

(議長)

今回、運行事業者二社が共同運行されるということだが、双方の連携は十分にできるのか教えてほしい。

(事務局)

平和タクシーさんと早島タクシーさんの方で、綿密に話をさせていただき、今回の共同運行ということになった。電話予約等の受付業務は平和タクシーさんが担い、配車、運行も基本的には平和タクシーさんでしていただくが、繁忙時間帯等があるので、対応が難しい場合に早島タクシーさんに補っていただき運行していただくというような形で話をさせていただいているので、そのあたりは問題ないと思っている。

(平和タクシー)

今回は共同運行ということだが、今、平和タクシーが倉敷市に乗り合いとして協力しているのは6地区7エリア。今回新設で7地区目ということにはなるが、ご存知の通り、タクシーを取り巻く環境は非常に厳しい。車両の台数不足、乗務員の高齢化、内定が大幅に不足している。これは我々だけではなく全国共通のタクシーの課題だろうと思う。あわせて過疎化や交通空白地帯。中山間部、高台にある高齢化が進む団地、そして町の中にある路線バス等の廃止によって、買い物難民や医療難民のような交通弱者が増えてくる。この課題を解決するのに我々事業者がどういったことができるかと考えたとき、当初始めたときはまだタクシー会社も体力があり、事業者負担であったり、1日多いところで十数本の便を走らせたり、ジャンボタクシー車両を走らせるなどやってきたものの、昨今、物価の急騰やエネルギー問題、先ほどの乗務員の問題も課題が色々あり、一社で運行を継続していくのは非常に難しいということで、他社で連携をとっていただけたところを探したというのが本音だ。

<p>協議事項</p>	<p>オペレーションについては我々が他地区で先行してやっていたのでノウハウがある。</p> <p>お客様センターで取り扱う予約の内容も、高齢者の方が多く、予約忘れやキャンセル等、非常に難しいやりとりがある。そこは我々がフォローしながら、まずは早島タクシーさんと2社で、維持継続を目指しやっていく。今後、未来の話にはなるが、倉敷市内のタクシー事業者皆が取り組めるような乗り物づくりが必要だと思っている。</p> <p>(委員)</p> <p>4月から試験運行ということで、地域の方にどのような方法で周知をする予定なのかお聞きしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在、豊洲地区の皆様配布するチラシを、地域の方と話し合いをしながら作成している。チラシができれば、各町内会や自治会の方に協力していただき、地区の全家庭に配布して周知を図っていこうと考えている。</p> <p>(委員)</p> <p>運行時間の設定は、地元からの要望を踏まえて設定したのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>時間の設定については、事前にアンケート調査を行い、基本的にはその結果をもとに設定している。ただ、朝早い時間帯はタクシー事業者の繁忙時間帯と重複しているということで、タクシー事業者から地域の方にご説明をいただき、最初の便を9時で設定した。</p> <p>(委員)</p> <p>倉敷駅前など既存のバス路線と併走しているところがあれば教えて欲しい。</p> <p>(事務局)</p> <p>下電バスの興除車庫から茶屋町を通過してJR倉敷駅や成人病センターの方に行く便については、ほぼ併走するような形になっている。</p> <p>(委員)</p> <p>下津井電鉄さんとは事前に調整されたか。</p> <p>(事務局)</p> <p>事前に調整させてもらっている。</p>
	<p>【議決】 賛成多数により原案承認</p>
<p>協議事項</p>	<p>イ 倉敷市地域公共交通計画の改定について</p> <p>【事務局から説明】 (資料2)</p> <p>【質疑応答・意見】</p> <p>(委員)</p> <p>今回の改定は、なぜこれが出てきたのか、説明をしてもらいたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>国の地域公共交通に関する補助金と公共交通計画を連動化させるため、国の補助金を活用する事業については、地域公共交通計画に位置づける必要があるということで、この度該当する路線について、計画に位置付けるということだ。</p> <p>(議長)</p> <p>国から要請を受けて、実は倉敷だけではなく他の自治体の計画でもそういった改定が</p>

協議事項	<p>進んでいる。その中で、倉敷市については今回挙げた路線が関わってくるので、ページ番号は63-64の間に63の1と2が入るとのことだ。</p> <p>【議決】賛成多数により原案承認</p>
協議事項	<p>ウ 令和6年度地域公共交通会議予算（案）について</p> <p>【事務局から説明】（資料3）</p> <p>【質疑応答・意見】なし</p> <p>【議決】賛成多数により原案承認</p>
報告事項	<p>ア 路線バス・臨鉄無料デーの実施結果について</p> <p>【事務局から説明】（資料4）</p> <p>【質疑応答・意見】</p> <p>（委員）</p> <p>無料デー当日とそうでない日の比較をしているが、全体的に、無料デーを実施することによる利用促進の効果というのはどれぐらいなのか。難しいとは思いますが、これはおそらく長期に渡って把握しなければならないところだと思うので、その点をお願いしたい。どういう形で利用促進につなげていくのか、我々も協力できる部分は協力させてもらおうと思うので、よろしくをお願いしたい。</p> <p>（委員）</p> <p>利用者はかなり増えていると思うが、滞在人数や通行人数に関してはなかなか変化を見るには難しい程度の差なのかと思う。この調査自体がサンプリング調査でかなり拡大をして結果を出しているはずなので、この差は誤差の範囲なのか、そうではないのかというのが読み取りにくいと思った。利用者自体は確実に増えている一方で、通行人数で見るとどうなのかと思う。</p> <p>もし次回以降やるようであれば、例えば既存の倉敷市の商店街の通行量調査のいくつかの主要な調査地点の結果を平常時として、運賃無料デーをやるときに、サンプリングとしてきちんと通行量をとってみて、そこで本当にこの資料に出ているぐらいの差が出るのかどうかを実数で見ても、どこかのタイミングで必要になってくると思う。</p> <p>すべてを比較する必要はないが、ここは見ておきたいというところをある程度ピックアップした上で、既存の調査との比較をやってみるといのが一つある。</p> <p>（議長）</p> <p>せっかく調査するので、その信頼性をきちんと担保していくということ大事かと思う。この方法でもいいかとは思いますが、もう少しサンプルを積み重ねていく必要も当然あるかと思うので、よろしくをお願いしたい。</p> <p>（委員）</p> <p>無料デーを行うことで、日頃マイカーしか使われてない方が、バスに乗ってみて便利がよかったとか、意外と駐車場に苦慮しなくてよかった等、色々気付きが出てきて、すぐに効果が出ないかもしれないが、定期的に計画的にマイカー利用者が公共交通にシフトしていく気持ちや気づきに繋がるような形で、次年度以降もこのような取組を続けていくことが必要だと思う。</p> <p>余談話にはなるが、地元に乗合タクシーが走っているのに乗ったことがなかったが、</p>

<p>報告事項</p>	<p>先日機会があって乗ってみた。乗ると意外とよく、乗ってみると気付くことがあるという実体験があった。予算との絡みもあるのは承知しているが、今後も継続してもらいたいという思いで、今後の方針をぜひお聞きしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>2年にわたって無料デー実施をさせていただいた。当然、検証もしているところではあるが、同じような施策が今後継続的に実施できるかという、財源等も含めて、困難な部分もある。そういった中、これまではこれをきっかけづくりに、という切り口で無料デーをしてきたが、今後は、まだ具体的にお示しできるものではないが、継続的に利用者が増えていくような施策等について、市の内部の方で現在検討を進めているところだ。</p> <p>(委員)</p> <p>このアンケート結果の今後の公共交通の利用、必要性について、選択肢で回答してもらっているが、気になるのがネガティブな意見。無料でないと利用しないとか、そもそも必要だと思わないという回答がある。</p> <p>無料デーはすごくいいイベントだと思っていて、地域の皆様と一緒に協力していこうという取り組みの一つだと思うが、こういったネガティブな意見が出てくるのはなぜなのかがわからない。公共交通を地域の皆さんと一緒にになってより良くしていくことが大事だと思うので、例えばどういったことがあれば利用したいのかというような、地域の方にも一緒に考えてもらい、より良いものにしていくためにも、自由記述を設けてもいいのかなと思った。</p> <p>(事務局)</p> <p>次回の実施を現時点では予定してない中で、追加のアンケートは現時的では不可能だとは思うが、昨年まで2年にわたり地域公共交通計画の策定の中で、2回大規模なアンケート調査をした。なぜ乗らないのかという質問もした上で、問題点の抽出等をした結果の計画が現計画でもあることから、その際のなぜ乗らないのか、目の前に停留所があっても乗らないというのはどういった方なのかという点については、その際のアンケート結果等を参考にしながら、改善すべきところは改善していきたい。</p> <p>(議長)</p> <p>せっかくアンケート調査もやったので、結果をどう次のステップをつなげていくのかが一番大事だろうと思う。今後利用促進策を検討する際に、この成果が出てくるといいと思う。</p>
<p>報告事項</p>	<p>イ プレミアム付きタクシー券の販売状況について</p> <p>【事務局から説明】(資料5)</p> <p>【質疑応答・意見】</p> <p>(議長)</p> <p>タクシー券の使用率は80%弱ということは分かったが、この期間タクシーの利用者は増えたのか。今までと同じ利用者がこの券を使っただけなのか、新たな利用者が増えたのか。そのあたりはまだ速報的なものも出ないかとは思いますが、何かタクシー事業者から聞いている話はあるか。</p>

報告事項	<p>(事務局)</p> <p>倉敷市内の主要2社に、毎月利用者数の報告をいただいている。9月、10月については、対前年でありこのタクシーチケットの販売の効果と思われるような有意な数字の変化はなかった。推測にはなるが、定期的にタクシーで通院されている方等への物価高騰対策という切り口で実施した事業でもあるので、新たな需要喚起という点では弱く、利用促進という意味ではやや厳しかったのかと思う。</p> <p>(議長)</p> <p>基本的にはタクシーを使って外出していただくということだったと思うので、その効果について、事業が終わった段階で結果を改めて報告してほしい。</p>
報告事項	<p>ウ 交通政策関連予算について</p> <p>【事務局から説明】(資料6)</p> <p>【質疑応答・意見】</p> <p>(議長)</p> <p>両替機やICチャージ機、自動券売機に補助上限がついているが、そもそもの相場がわからないので、この上限額が高いのか安いのかよく分らない。</p> <p>(事務局)</p> <p>これについては、予算を要求する前段階として、各事業者に改修費用がどのくらいかかるのかを事前に聞き取り、その額を基準としている。その2分の1が概ね15万円だ。</p> <p>(議長)</p> <p>7月に新紙幣が発行されるということになっているが、資料の補助金は倉敷市の予算ということで、例えば国等がこのような予算をつけた場合に併用は可能かということと、国の方でも新紙幣対応の予算というものが具体的にあれば、分かる範囲でお聞きしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>県や国等の補助金は、現時点ではないように聞いているので、倉敷市からの補助という前提でしている。国等の補助がある場合は、補助要領、要件等を検討する際に、複数の補助の兼用が可能かどうかについても検討した上で、制度の作り込みをし、各対象事業者に案内をさせていただく。</p> <p>(岡山運輸支局)</p> <p>新紙幣対応のための特化した補助メニューは今のところはない。もしかしたら経産省からあるかもしれないが、私の方で確認できているものはない。もともと券売機等だと、国交省でいうとインバウンド対応事業で購入できるという補助を、500円硬貨が変わった時に改修せず今まで我慢してこられたところが、この機と一緒に改修されるというようなことも聞いている。そういった入れ替えというところで、従来ある補助メニューを使っていただくことは可能だと思う。こちらに特化したというものは国交省では用意できていない。</p>
その他	<p>ア 「井原線感謝デー」について</p>
	<p>【井原鉄道株式会社からイベントの告知】</p>
その他	<p>イ 「ライドシェア」について</p>
	<p>【委員から質問】</p>

(委員)

先日、岡山市の局長に、岡山市としてライドシェアの参入をどう考えているのかということ、労働者の代表としてお聞きした。岡山市の局長は、現段階では市としては考えてないということで、人材不足の中小企業として人員をどう増やしていくかということで、賃金も底上げしていただき、人員不足を少しでも解消して、今ある乗り物に乗っていただくということを確認した。その一方で、不便な地域で、過疎化していく地域においては、今後考える時期が来るかもしれないという意見だった。

今日倉敷市の見解がもし分かれば、ライドシェアを今後どう考えているのか、また、運輸支局の方にも分かる範囲でいいのでお聞きしたい。

(岡山運輸支局)

コロナが明け旅行者が増えた中で、タクシーが足りない、乗務員がいない、代わりになるものを何か用意しないといけないという議論があったところで、ライドシェアについても議論していこうというのが、もともとのところ。この問題を解消するためには方策として一つを選んでやっているのではなく、一つはタクシー事業自体の規制の部分を少し緩和し、足りていないところが増やせるような体制にするなど、個人タクシーの部分の基準等も改正をして、少しでも多く、事業の中で対応できる範囲を増やしていこうというのがある。あるいは、事業者がいない地域については、自家用有償運送をやっているが、完全な交通空白地でなくても、時間帯等で夜になると交通がなくなってしまうというところには入れていく等、自家用車でも、従来ある制度の基準を少し緩くしていこうというようになっている。

今新しく日本版ライドシェアという形で国で考えているのは、いわゆるタクシーの配車アプリのデータを検証してみて、タクシーが足りていないところをタクシー事業者の管理のもとで自家用車のドライバーに行ってもらおうという形で、方針を検討しているところだ。運賃も基本的にはタクシー事業者と同じ形でやる方向で検討はされているが、そのあたりの道筋をどうしていくか、タクシーは運賃を事前に確定できる制度もあるのでそれを活用するなど、そういったやり方でやってみようというのが、今全国的に言われている取り組みになっている。現在、タクシー事業者を活用したライドシェアというのを、どのようにやるかというのを検討しているところで、どこに導入するかを調整中というところまでが、今私の方で把握している情報だ。

(事務局)

倉敷市独自で具体的に検討しているようなことは、現時点ではない。

(委員)

調査について、どんな調査のやり方か、実施主体はどこか、どういった点を調査するか等不安がある。タクシーが何台あろうが、渋滞する時間帯や天候によってはお客様を待たせる時間は発生するので、そこを見て端的にライドシェアに参入するという話になると納得できない。交通会議等の意見を聞きながら調査をし、本当に必要であれば仕方がないと思うが、きちんとした調査をして、ライドシェアのことを考えていただきたい。